

2022年 6月29日(水) 13:30開演
(13:00開場)

浦臼町農村センター (浦臼町字浦臼内184-61)

浦臼町在住者限定・入場無料(整理券なし)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※会場ではマスクを常時着用し、ご歓談ご声援やご飲食をお控えください。入場口の検温、手指の消毒にご協力ください。37.5℃以上の発熱、体調の悪い方は入場いただけません。そのほか会場での感染症対策にご協力ください。

指揮 ^{シューリヒト} 松本 宗利音
管弦楽 札幌交響楽団

ベートーヴェン／交響曲第8番

J.シュトラウス2世／喜歌劇「こうもり」序曲

ポルカ「クラップフェンの森で」

ポルカ「雷鳴と稲妻」

ワルツ「美しく青きドナウ」

札幌交響楽団 浦臼公演



医療×芸術×社会福祉のために、人々と支えあいながら「美」の文化を伝えたい。

「公益財団法人 萬田記念財団」は、

北海道の音楽文化の担い手である札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。



[主 催] 浦臼町教育委員会
公益財団法人 札幌交響楽団

[後 援] 浦臼町

[協 賛] 公益財団法人 萬田記念財団

※やむを得ない事情により公演内容の一部が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ
浦臼町教育委員会
TEL 0125-68-2166(平日8:30~17:15)

札幌交響楽団
TEL 011-520-1771
(平日9:30~18:00、月曜不定休)



公益財団法人 萬田記念財団は、医学を中心とする研究・教育活動の支援・貢献、芸術分野への支援・貢献、および社会福祉への支援を行うことにより、生命の安全を守る医療、社会福祉および情操の涵養を促す芸術の振興・向上を目的とする公益財団法人です。事業のひとつとして平成25年度から北海道の音楽文化の担い手である札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。



指揮/松本 宗利音

Shurihito MATSUMOTO, conductor

Profile

1993年11月大阪府豊中市出身。相愛音楽教室、センチュリー・ユースオーケストラに所属し、音楽、特にヴァイオリンに親しみながら幼少期を過ごした松本宗利音は、京都堀川音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部指揮科卒業時に最優秀賞であるアカンサス賞を受賞。

指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和、ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子の各氏に師事し、藝大在学中にはダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。

2019年4月から2022年3月まで札幌交響楽団指揮者として道内はもちろん各地で共演を重ねた。2020年10月には指揮研究員を務めて指揮者としての才能を花開かせる礎となった東京シティ・フィルの定期演奏会に、2021年2月には読売日本響、9月には大阪フィル定期演奏会にもデビューし堂々たる演奏を披露。これまでに仙台フィル、山形響、群馬響、東京響、新日本フィル、名古屋フィル、京都市響、関西フィル、大阪響、日本センチュリー響などに客演、活躍の場を大きく広げている。これからの音楽界を担う期待の若手指揮者の一人であり、その瑞々しい感性から引き出される音楽から目と耳が離せない注目の存在である。

管弦楽/札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

1961年に発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれ、2021年に60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られている。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカなどが務め、現在、首席指揮者 マティアス・バーメルト、名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、正指揮者 川瀬賢太郎を擁する。

例年、年間約120回のオーケストラ・コンサートのほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を道内各地で行っている。60年を超える歴史の中、節目ごとに海外公演も行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博している。



公式ホームページ

<https://www.sso.or.jp>

